

## 2 就職問題並びにキャリア教育を巡る課題と方策

～キャリア教育における探究活動の効果的な活用を求めて～

東京都立日野台高等学校長 森田 正男

### I はじめに

高等学校においては、今年度、全学年が新学習指導要領全面実施にともない「個別最適な学び」「協働的な学び」を進めながら、新たな評価規準に伴う指導経過との一体化を目指した教育活動が展開されている。

キャリア教育については、キャリア教育及び職業教育に関して配慮すべき事項（第1章総則第2款3(7)）では、高等学校は、普通教育及び専門教育を施すことを目的としており、将来社会に出て職に就くのに必要な職業教育も行っている。特に職業教育に関連した規定としては、各学科における就業体験活動の機会の確保、普通科における職業に関する各教科・科目（職業科目）の履修、職業学科における配慮事項、更に職業科目についての配慮事項を示している（昨年度掲載内容と同様）。

以下の数字は、文科省による令和6年3月、高校を卒業した生徒の就職状況調査の結果である。

#### 【就職希望者数・就職者数等】

卒業者	925, 339人	(前年同期 968, 303人)
就職希望者	129, 907人	(前年同期 137, 843人)
うち就職者	127, 266人	(前年同期 135, 035人)
うち未就職者	2, 641人	(前年同期 2, 808人)

#### 【就職率（就職者の就職希望者に対する割合）】

98.0%（前年同期比同）

##### ○男女別就職率

男子 98.4%（前年同期比同）

女子 97.2%（前年同月比0.1ポイント減）

##### ○学科別就職率（就職率が高い順）

「工業」99.5%、「水産」99.2%、「商業」98.9%、「福祉」98.9%、「情報」98.8%、

「農業」98.7%、「家庭」98.4%、「看護」98.3%、「総合学科」97.7%、「普通」95.9%

※「その他」の学科は除く。

※「看護」に関する学科は看護師5年一貫課程が主となるため、5年課程5年次の就職率を示している。

#### 【都道府県別就職率】

就職率が高い県：福島県 99.9%、富山県 99.9%、福井県 99.8%、三重県 99.7%、

秋田県 99.6%、和歌山県 99.6%、香川県 99.6%、広島県 99.6%

就職率が低い県：沖縄県 90.7%、神奈川県 91.9%、千葉県 95.3%、滋賀県 95.7%、

北海道 96.2%、大阪府 96.3%

今年度、昨年度までのアンケートを参考に、内容を簡素化し、同内容にてアンケート調査を実施、新学習指導要領開始3年目となり、就職状況とキャリア教育と探究活動をどのように結び付けている

のかという視点で再度調査を行った。各都道府県で回答校数を限定することなく回収させていただき、結果、全国約3,200校以上からの回答を得ることができた。各都道府県の協力を深く感謝いたします。

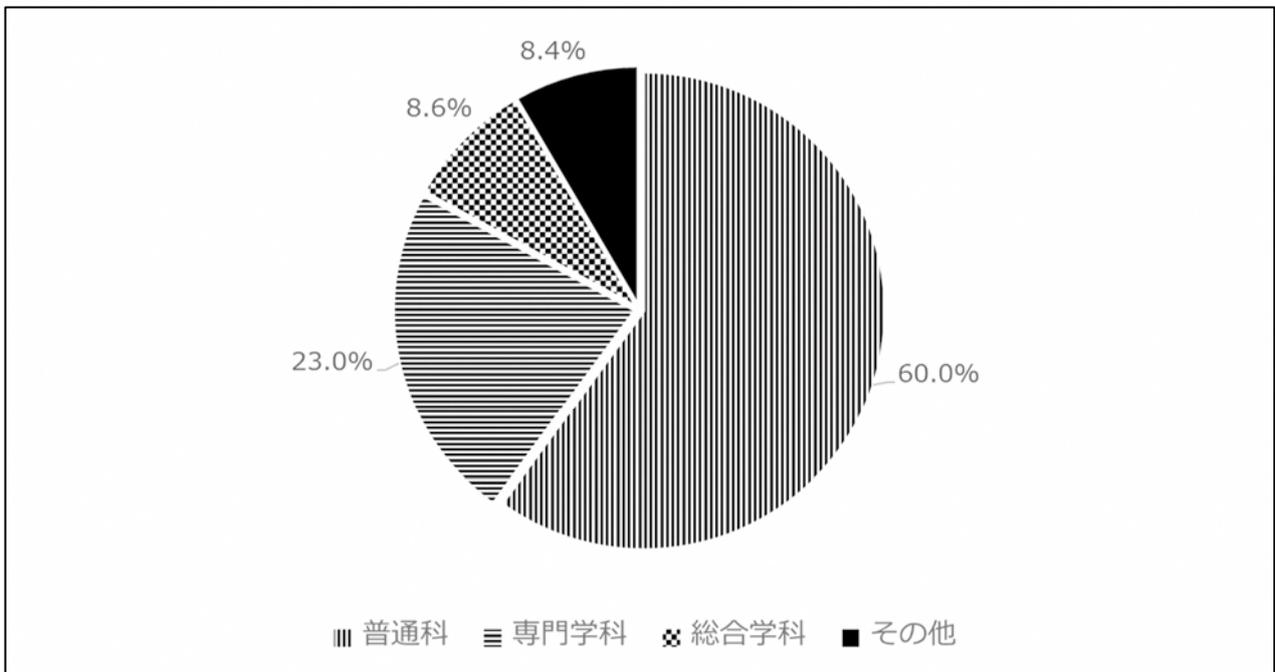
今回、アンケートの回収結果を基に、全国の状況がどのようになっているかということを中心に報告させていただくこととした。「分析」まで至っていないが、全国の状況がどのようになっているのか再度把握できればと考えている。

## Ⅱ アンケート調査集計結果報告

### ●回答を頂いた学校種別

(校)

公立	私立	国立	合計
2,975	225	5	3,205

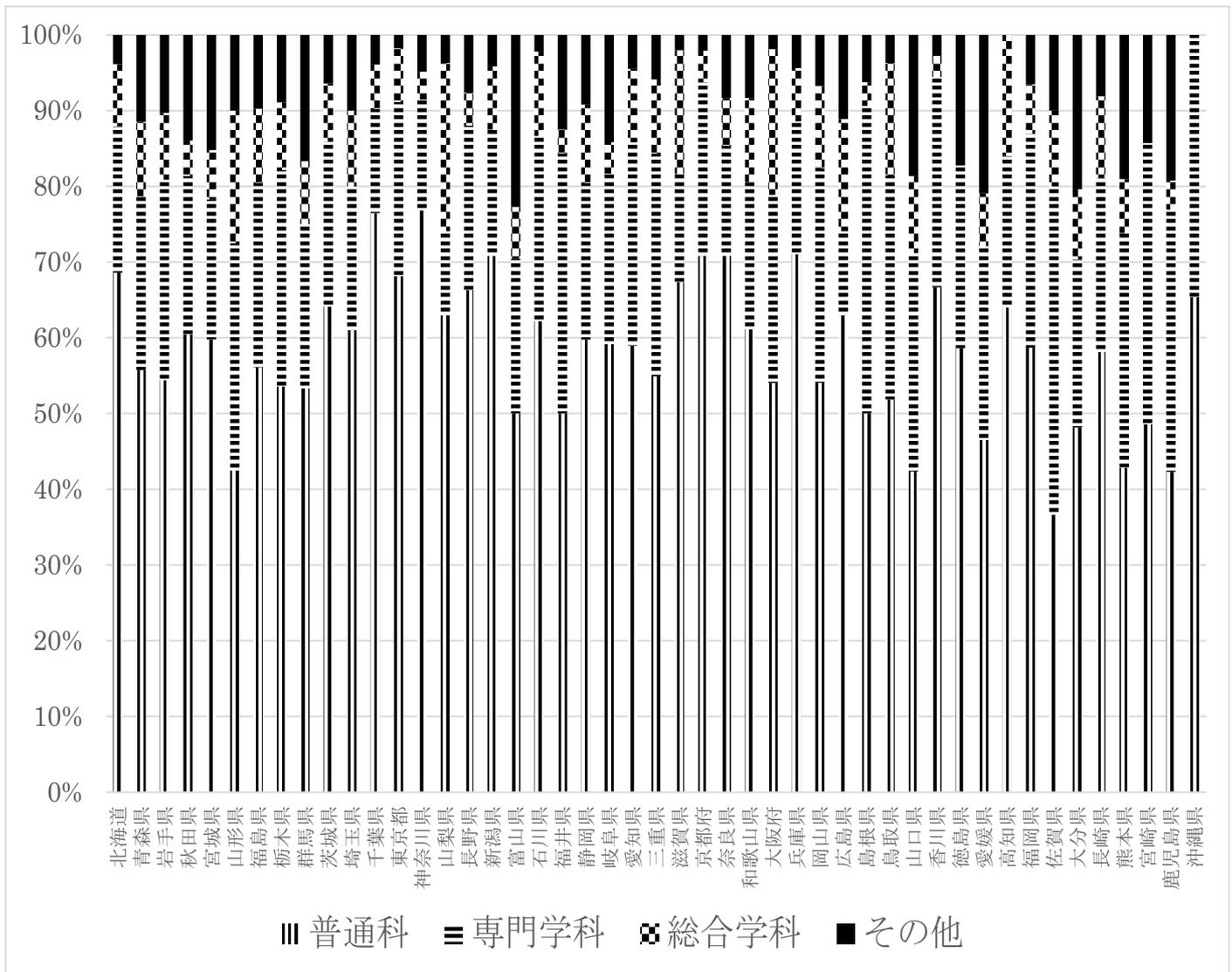


### ●都道府県別回答校数

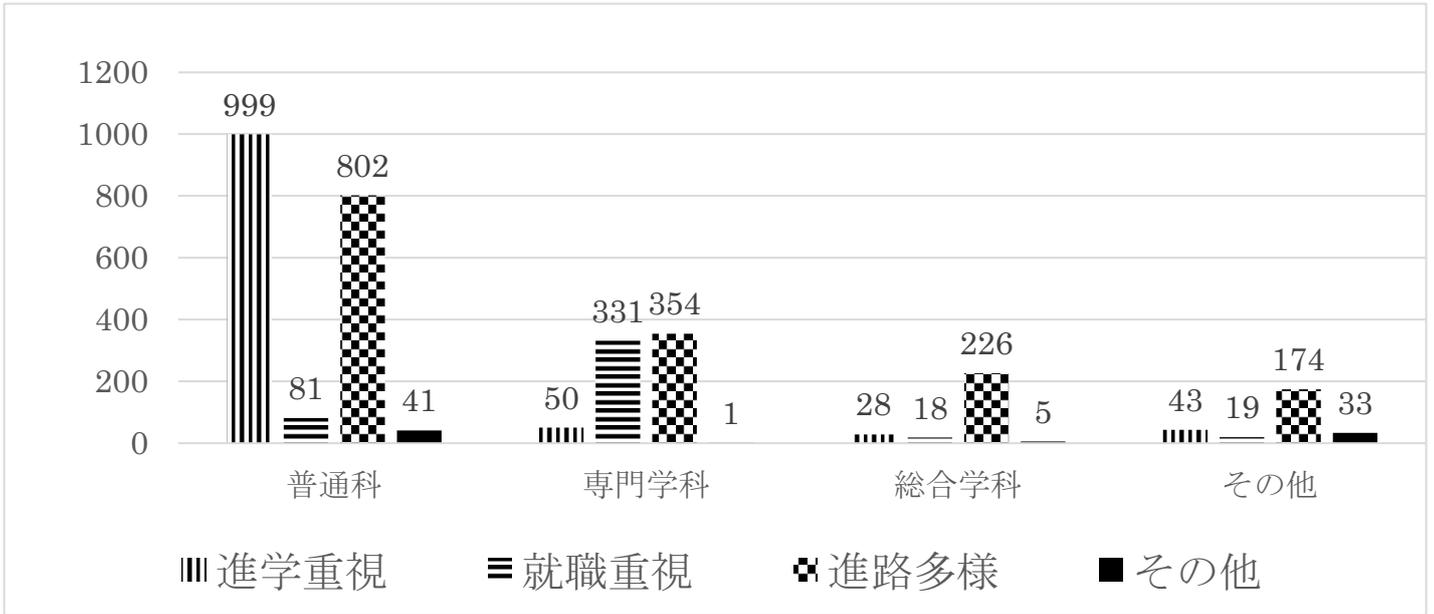
	北海道	青森県	岩手県	秋田県	宮城県	山形県	福島県	栃木県	群馬県	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県
総回答数	207	61	68	43	92	40	82	56	60	78	100	102	113	82	27	92	96	44	45	32	87	120	134	51
公立	190	52	61	41	79	31	82	56	54	78	100	102	112	82	27	76	82	37	39	27	87	99	134	51
私立	17	9	7	2	12	9	0	0	6	0	0	0	1	0	0	14	14	7	6	4	0	21	0	0
国立	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0

	滋賀県	京都府	奈良県	和歌山県	大阪府	兵庫県	岡山県	広島県	島根県	鳥取県	山口県	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	大分県	長崎県	熊本県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総回答数	49	48	48	36	161	114	74	81	32	27	59	36	29	43	25	92	30	54	74	42	35	78	26
公立	40	48	33	33	161	114	61	81	32	21	48	28	29	43	25	92	30	54	59	42	35	61	26
私立	9	0	14	3	0	0	13	0	0	6	11	8	0	0	0	0	0	0	15	0	0	17	0
国立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

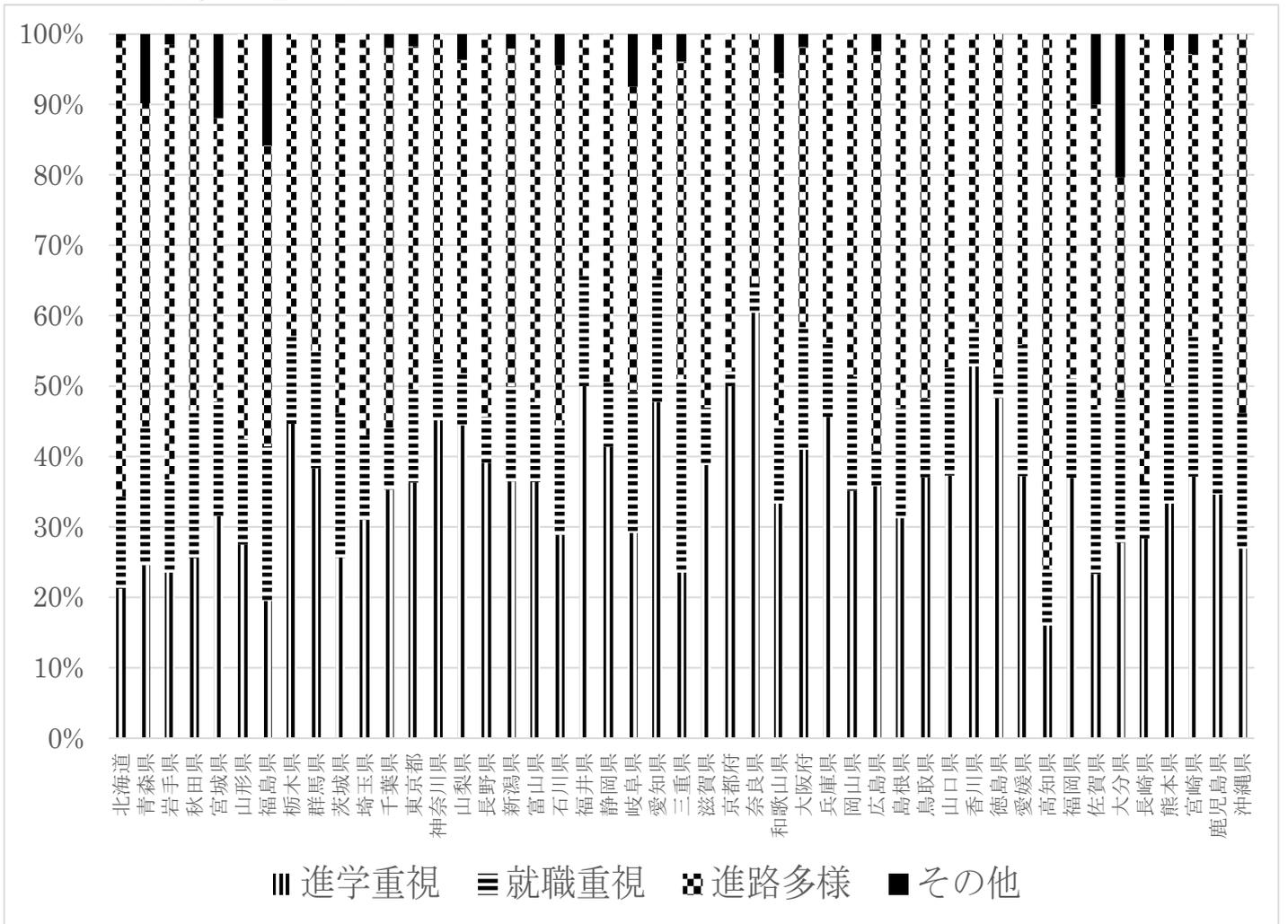
\* 学校種別①（都道府県別）



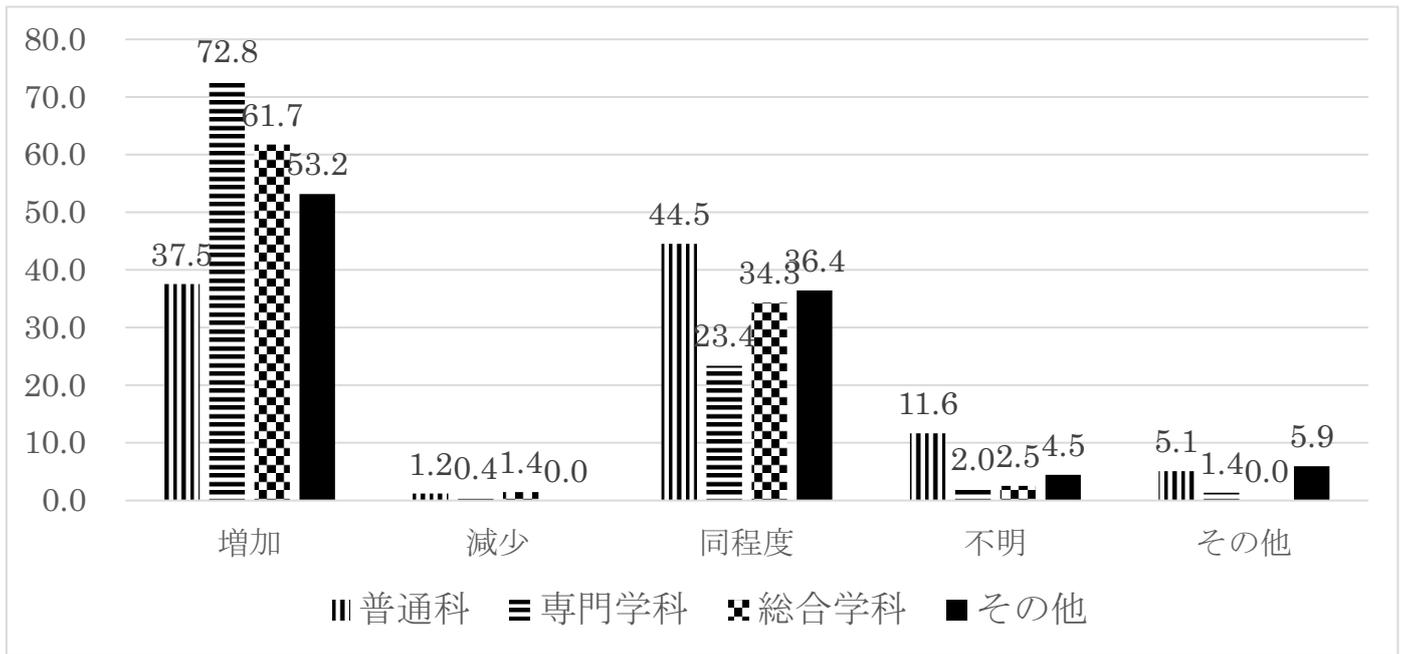
●学校種別進路調査（実数）（校）



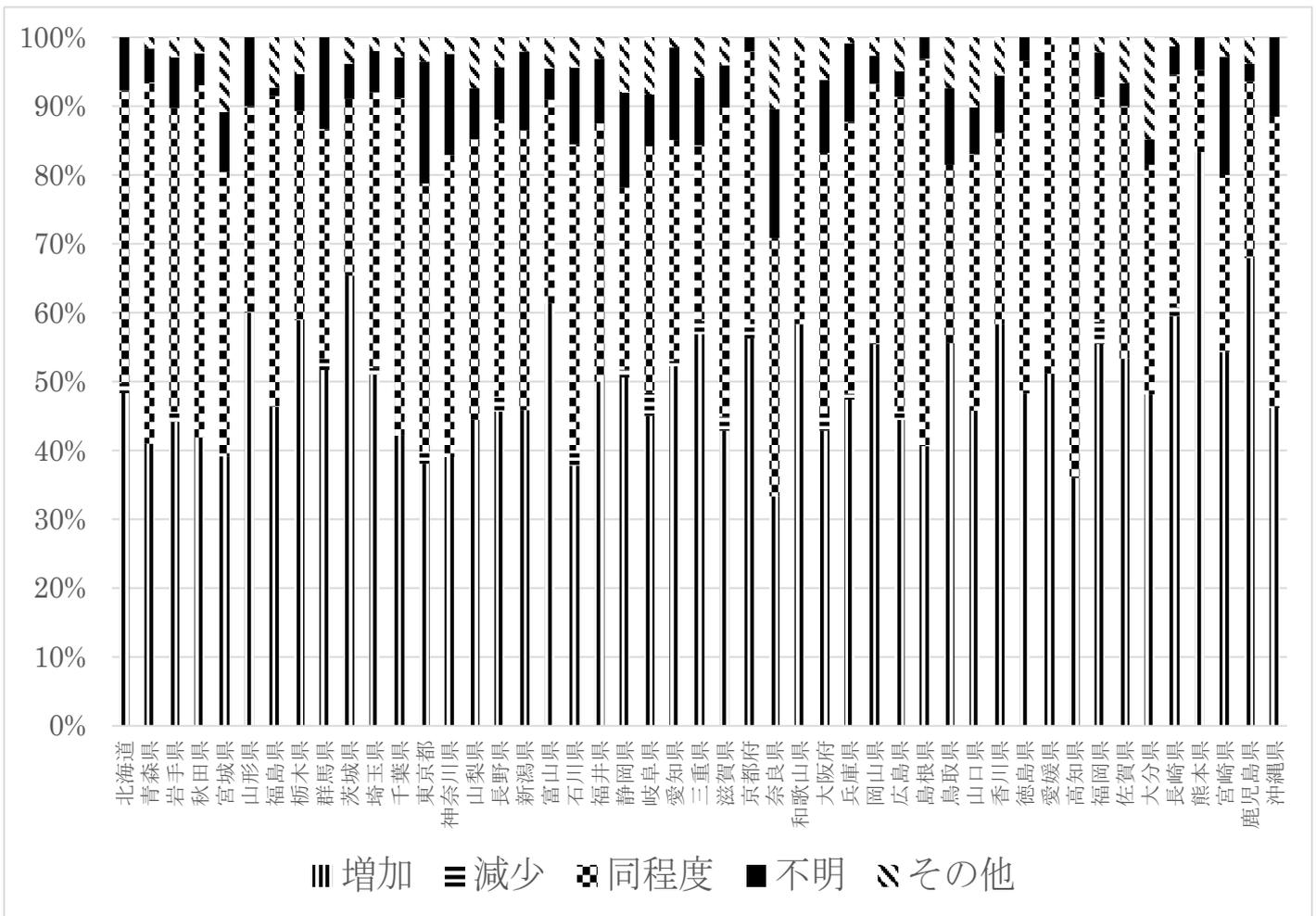
\* 学校種別②（都道府県別）



●求人状況調査（前年度との比較）（％）

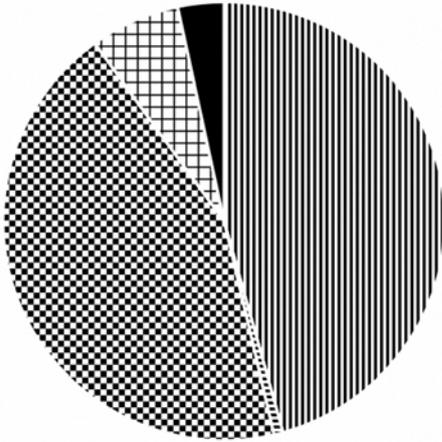


\* 前年度比 求人状況（都道府県別）



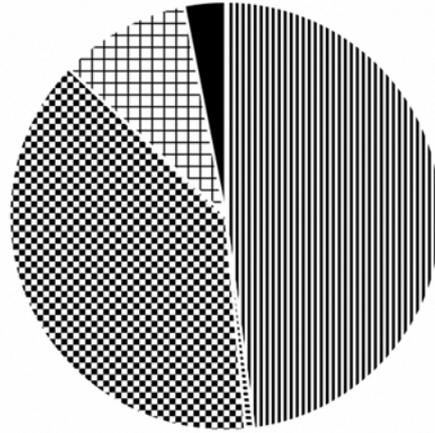
●求人状況調査（地域別前年度比較）

北海道・東北（総数：593校）



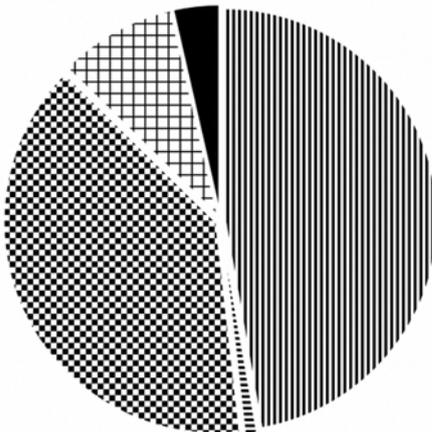
|| 増加 = 減少 ▨ 同程度 + 不明 ■ その他

関東（総数：618校）



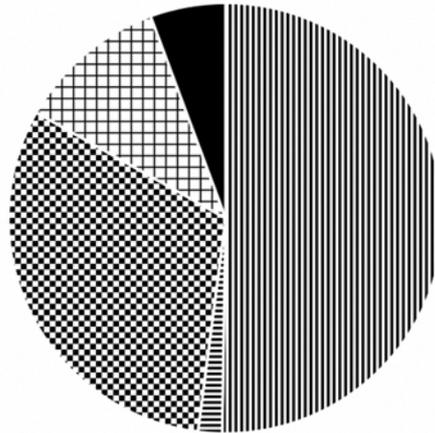
|| 増加 = 減少 ▨ 同程度 + 不明 ■ その他

北信越（総数：309校）



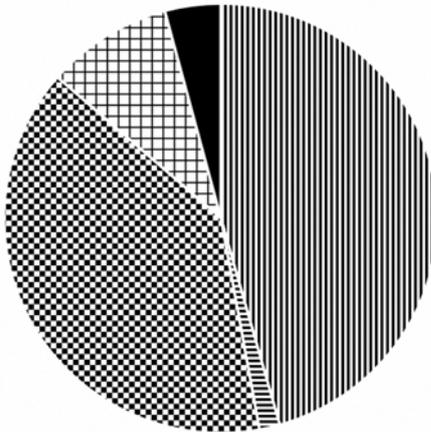
|| 増加 = 減少 ▨ 同程度 + 不明 ■ その他

東海（総数：392校）



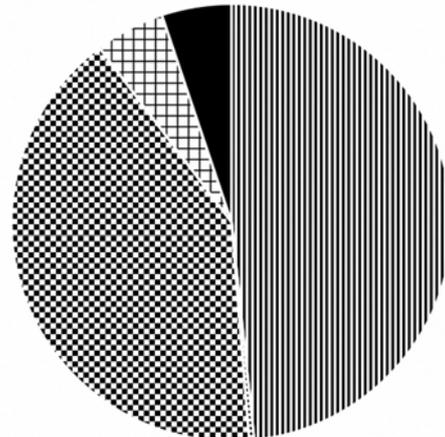
|| 増加 = 減少 ▨ 同程度 + 不明 ■ その他

近畿（総数：456校）



|| 増加 = 減少 ▨ 同程度 + 不明 ■ その他

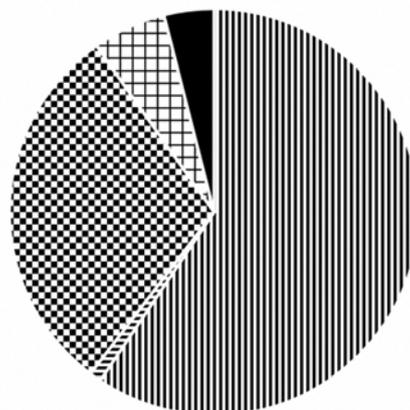
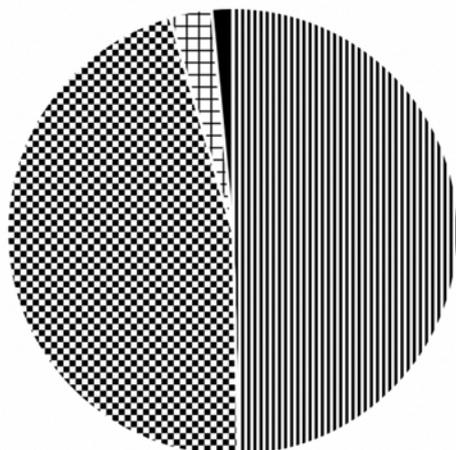
中国（総数：273校）



|| 増加 = 減少 ▨ 同程度 + 不明 ■ その他

四国（総数：133校）

九州・沖縄（総数：431校）

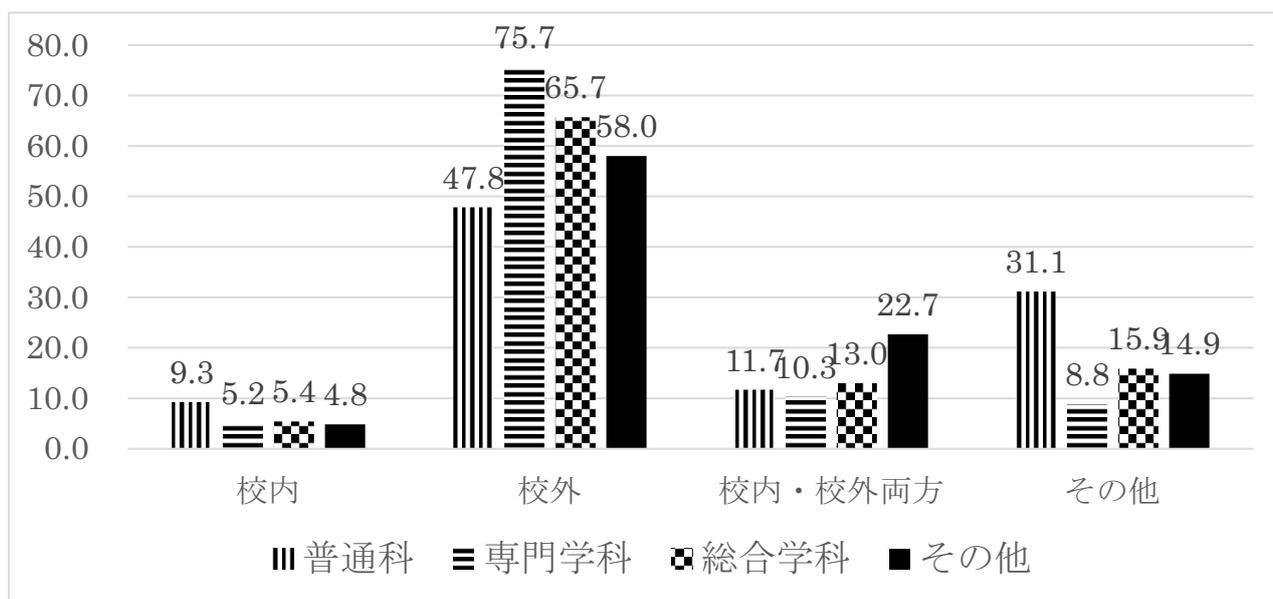


■ 増加 ■ 減少 ▲ 同程度 + 不明 ■ その他

■ 増加 ■ 減少 ▲ 同程度 + 不明 ■ その他

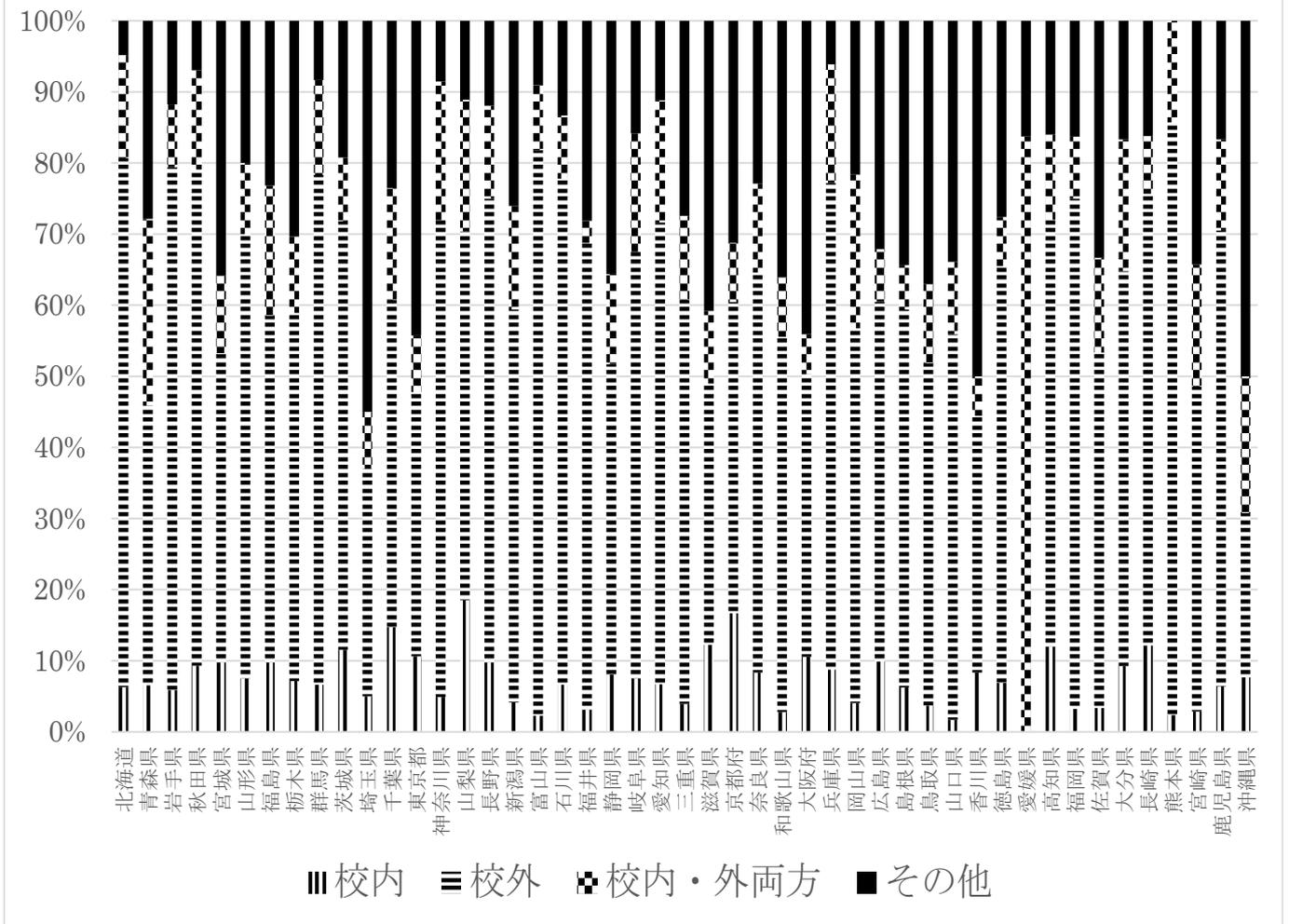
● 就職活動や就職指導に関する調査

(ア) インターンシップ実施状況 (%)

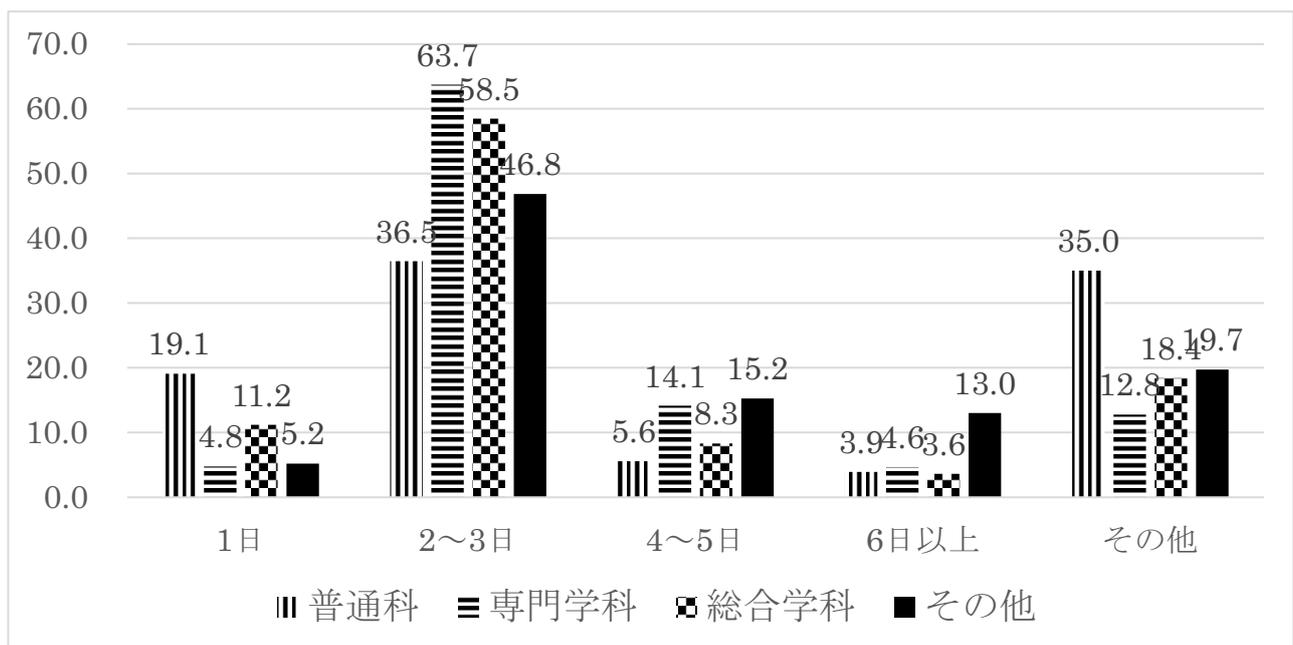


■ 普通科 ■ 専門学科 ■ 総合学科 ■ その他

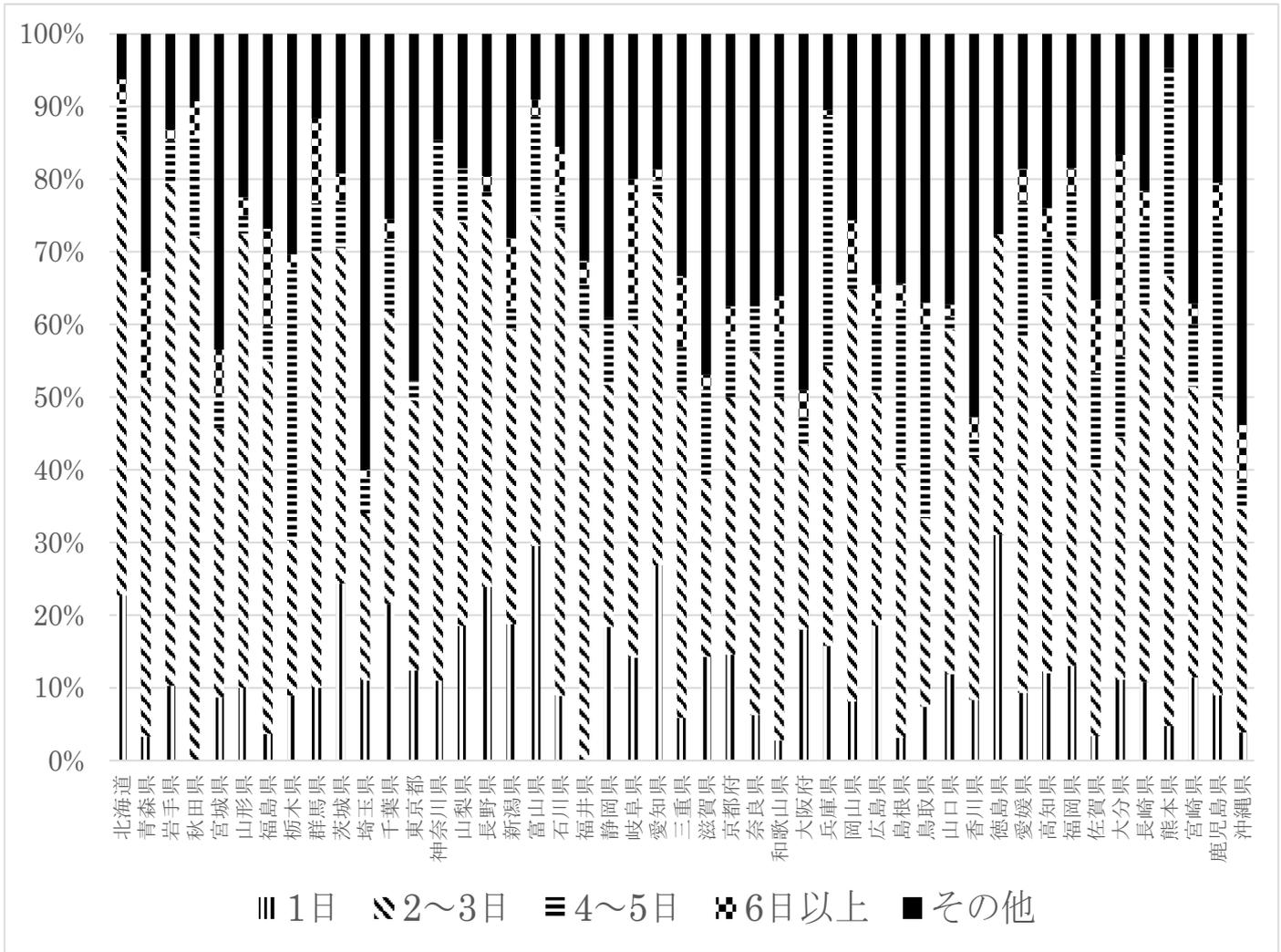
\* インターンシップ実施状況（都道府県別）



(イ) インターンシップ実施形態 (%)

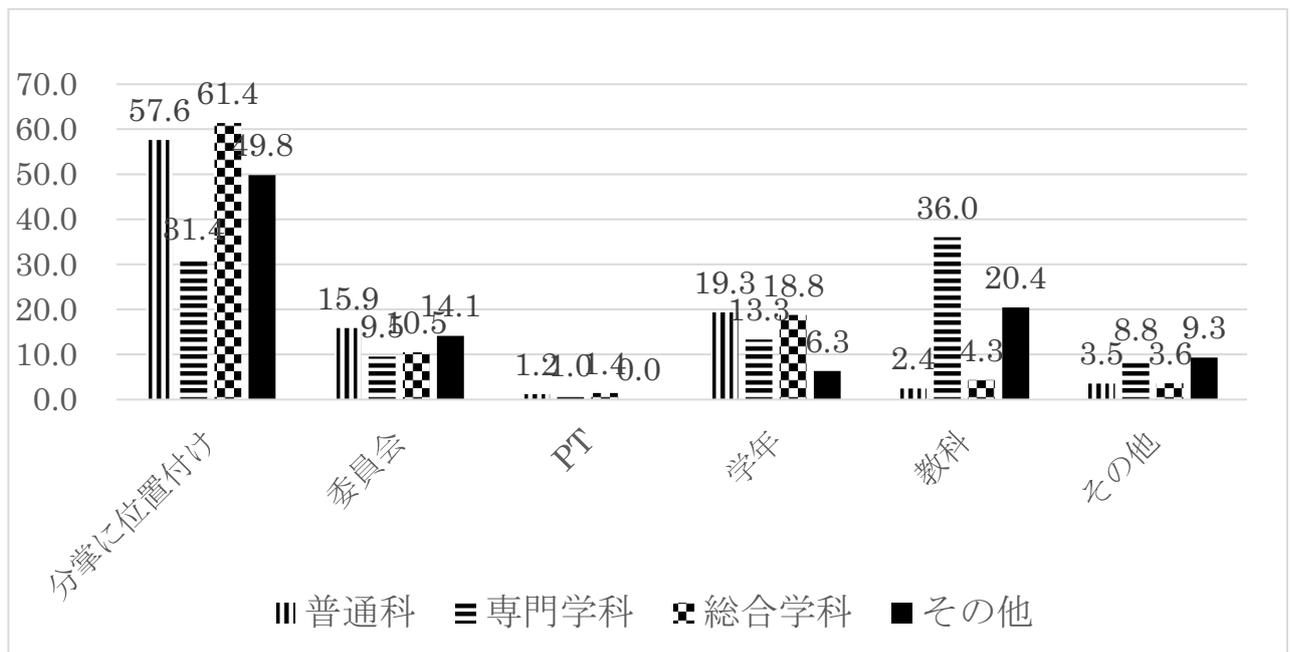


\* インターンシップ実施形態（都道府県別）

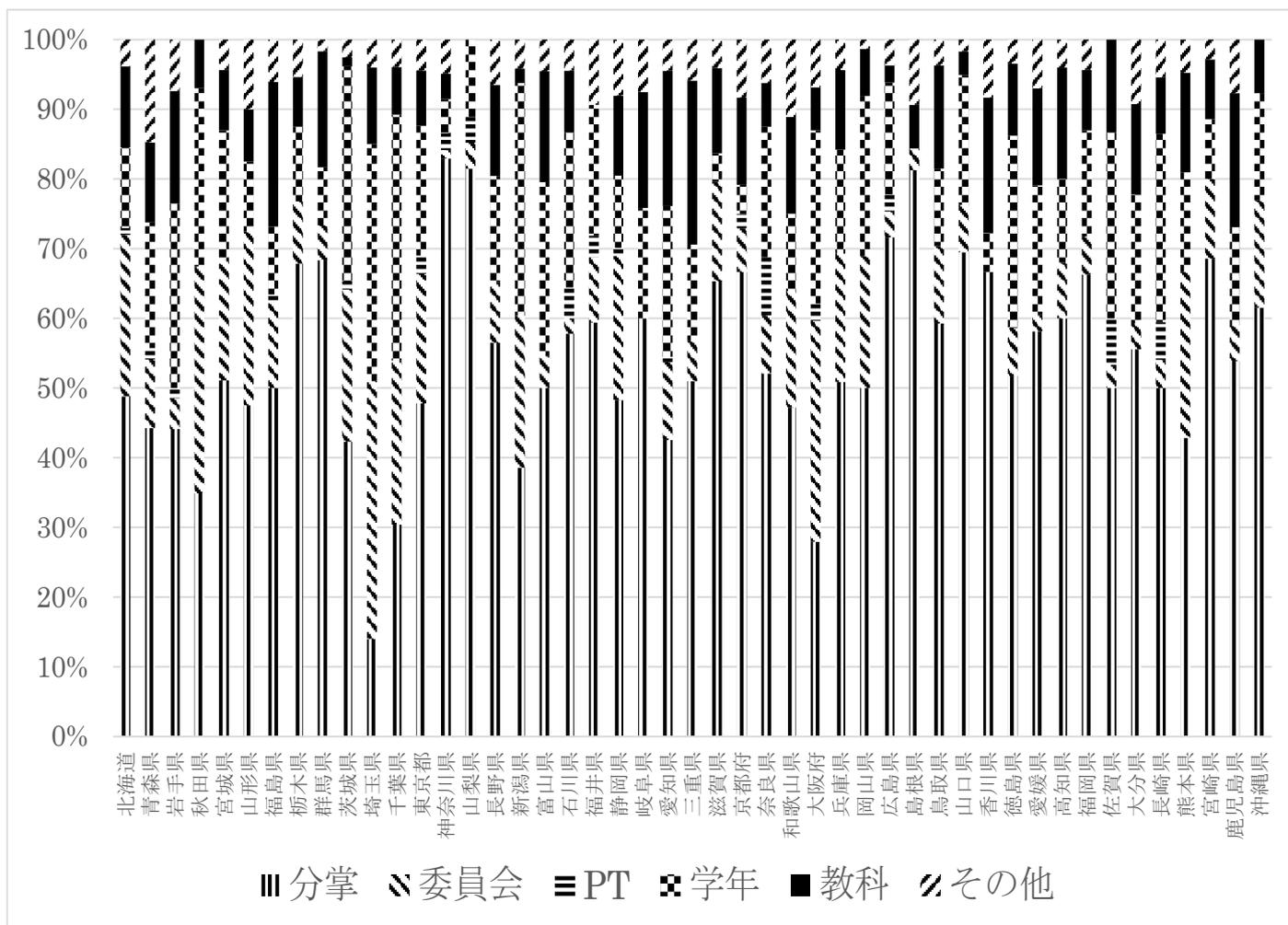


● キャリア教育への取組みに関する調査

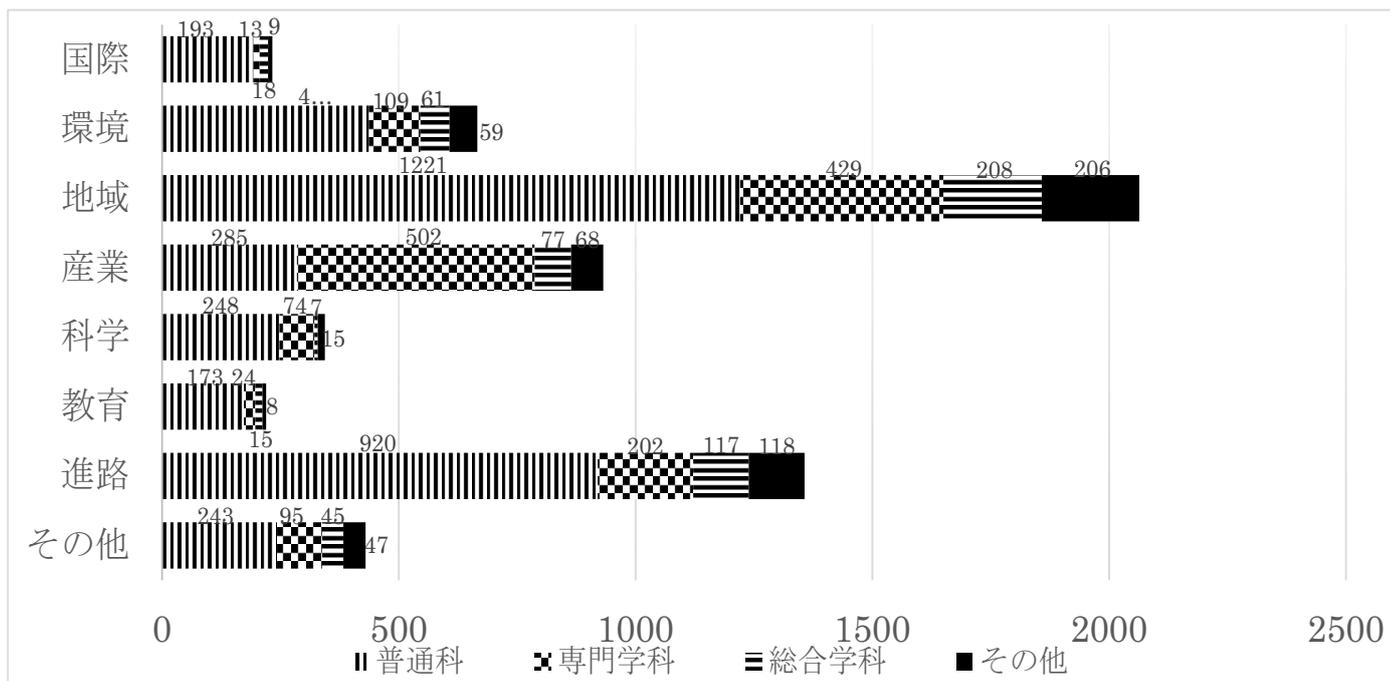
(ア) 探究実施における校内組織体制 (%)



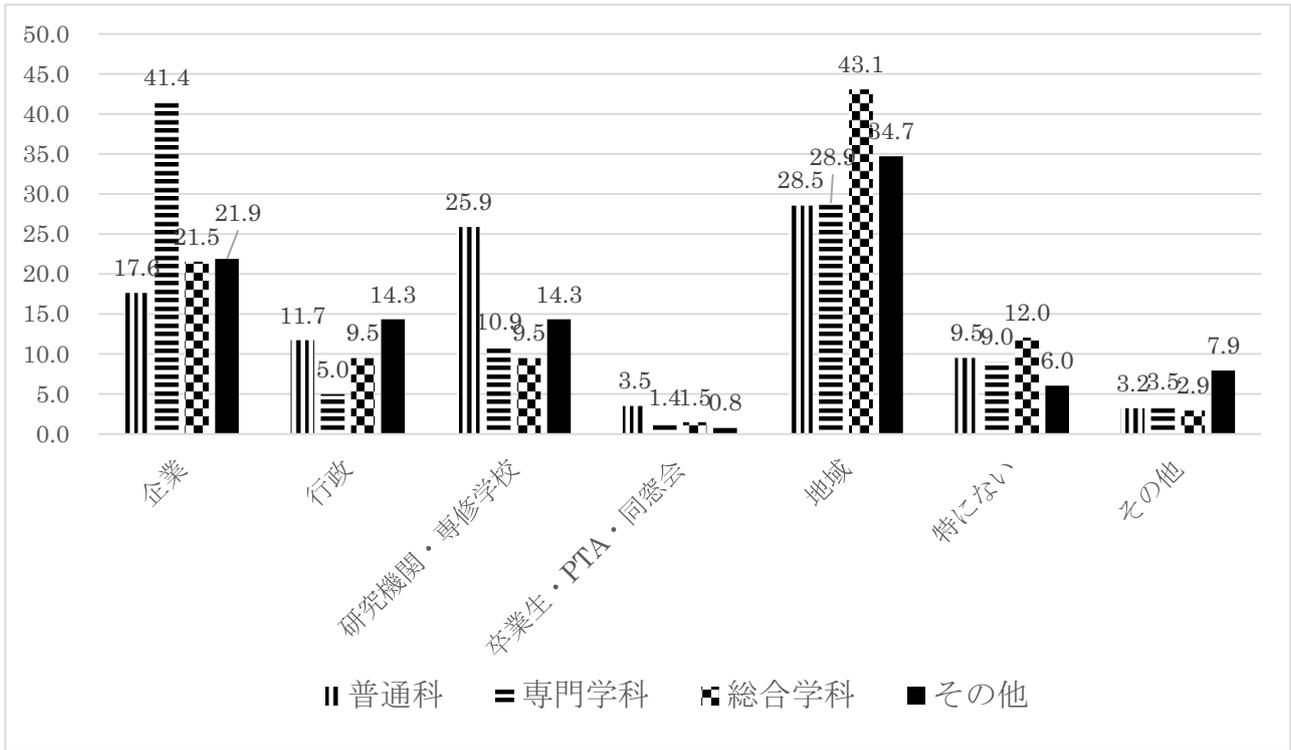
\* 校内組織体制（都道府県別）



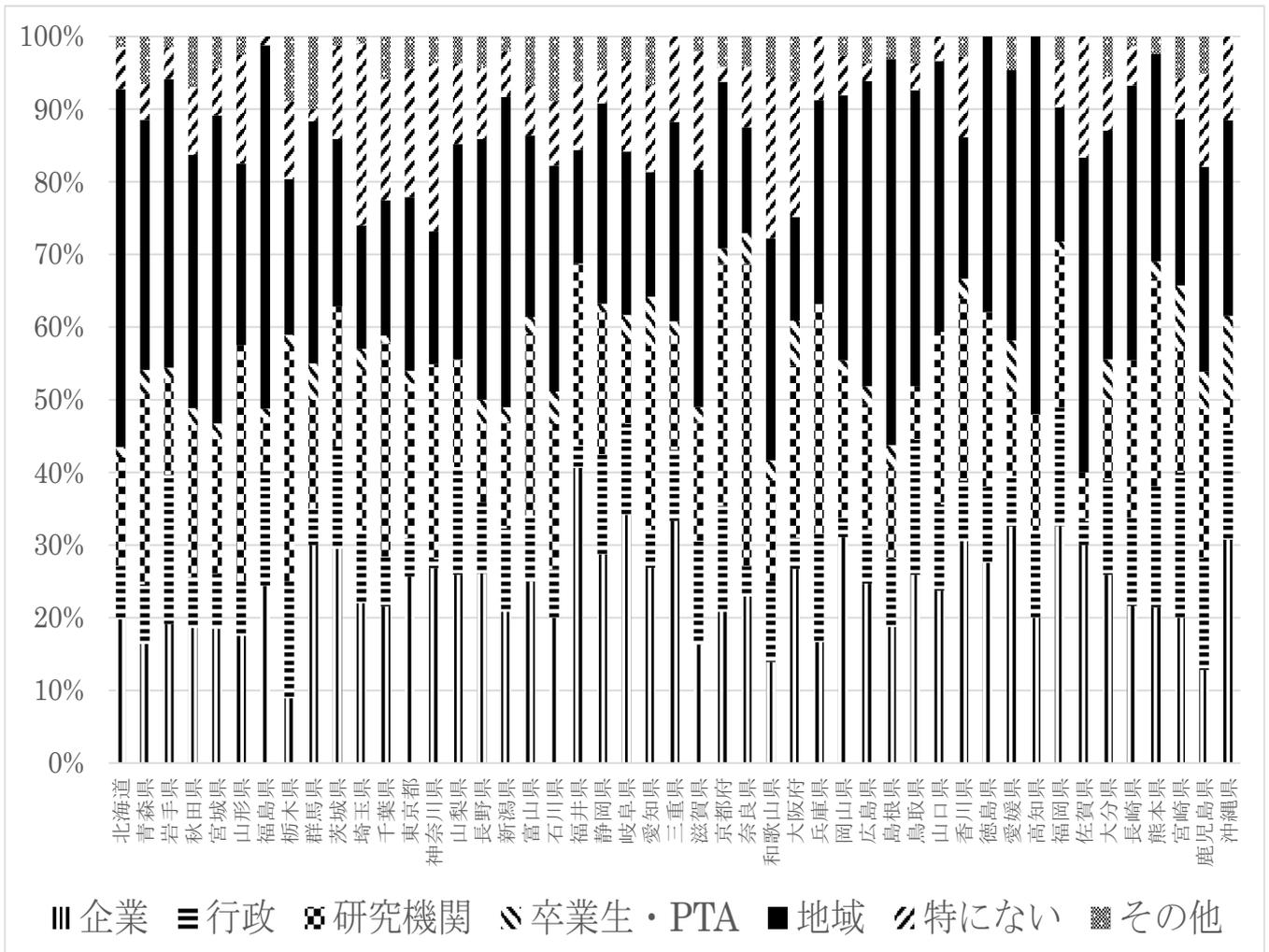
(イ) 探究テーマ（校数）



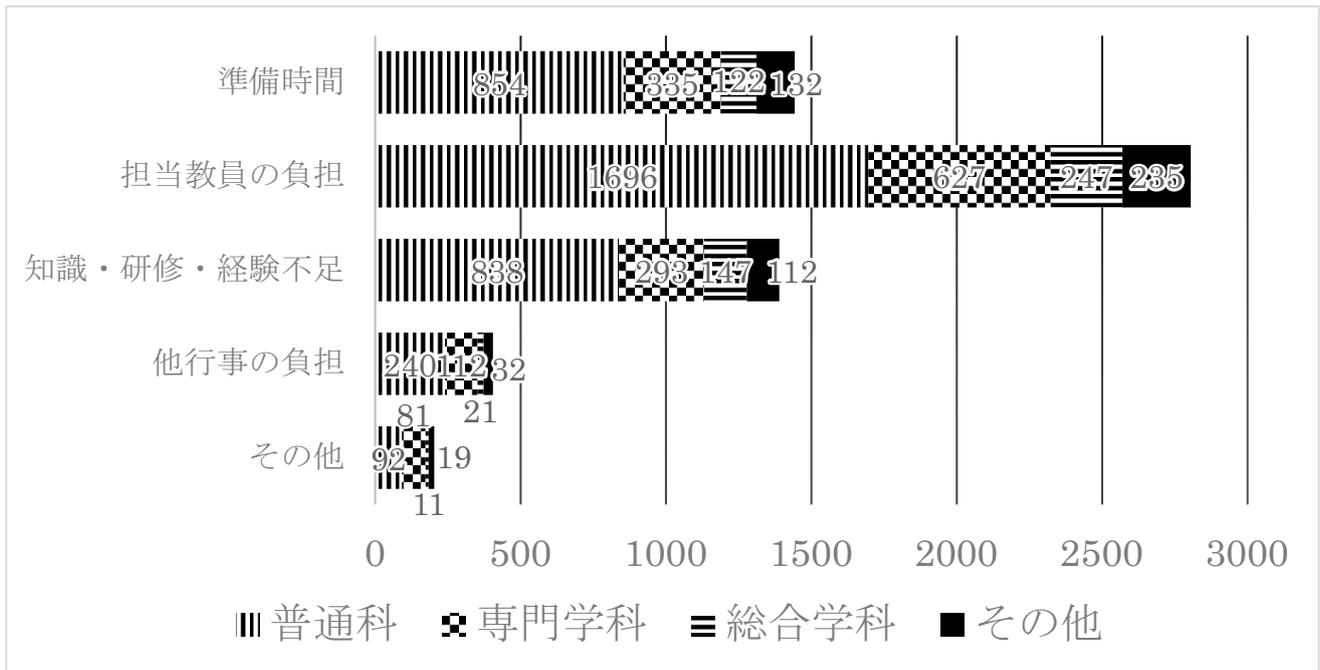
(ウ) 探究連携先 (%)



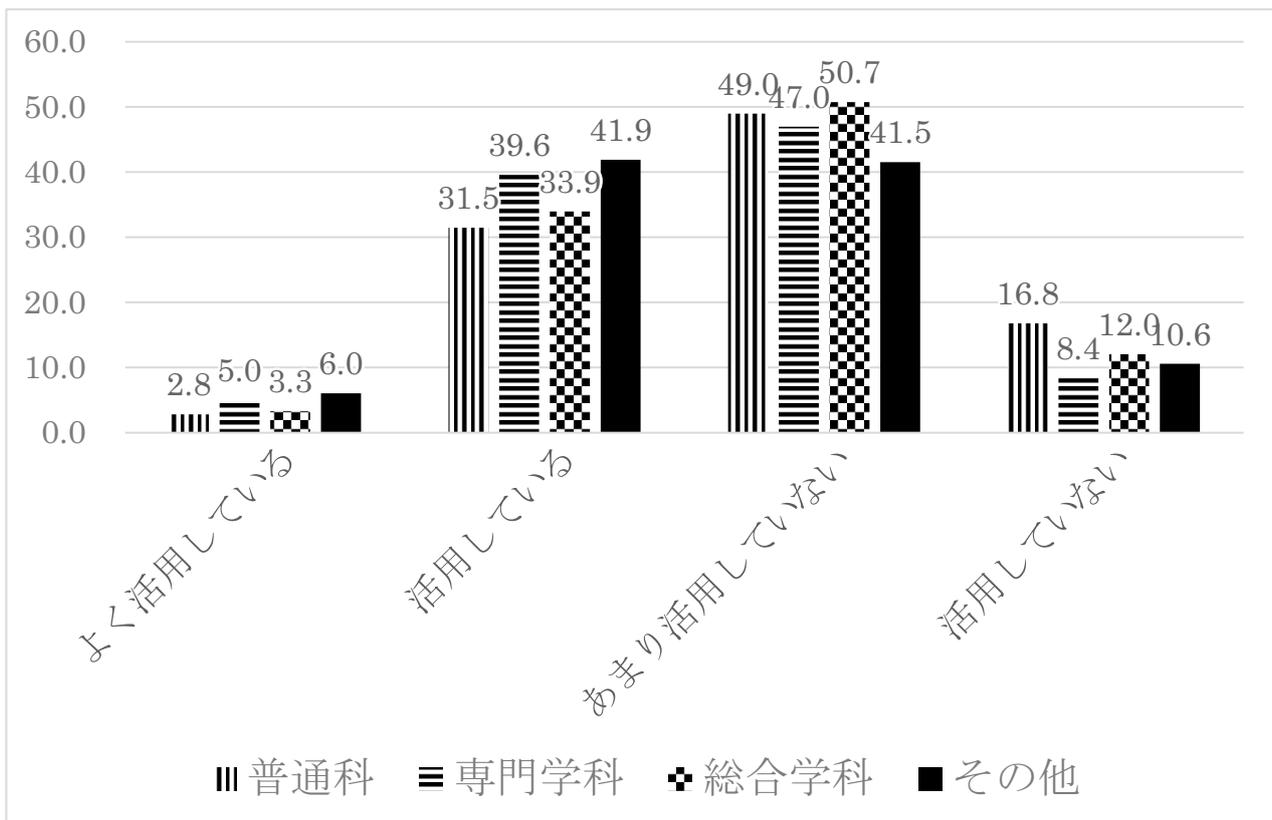
\* 探究連携先 (都道府県別)



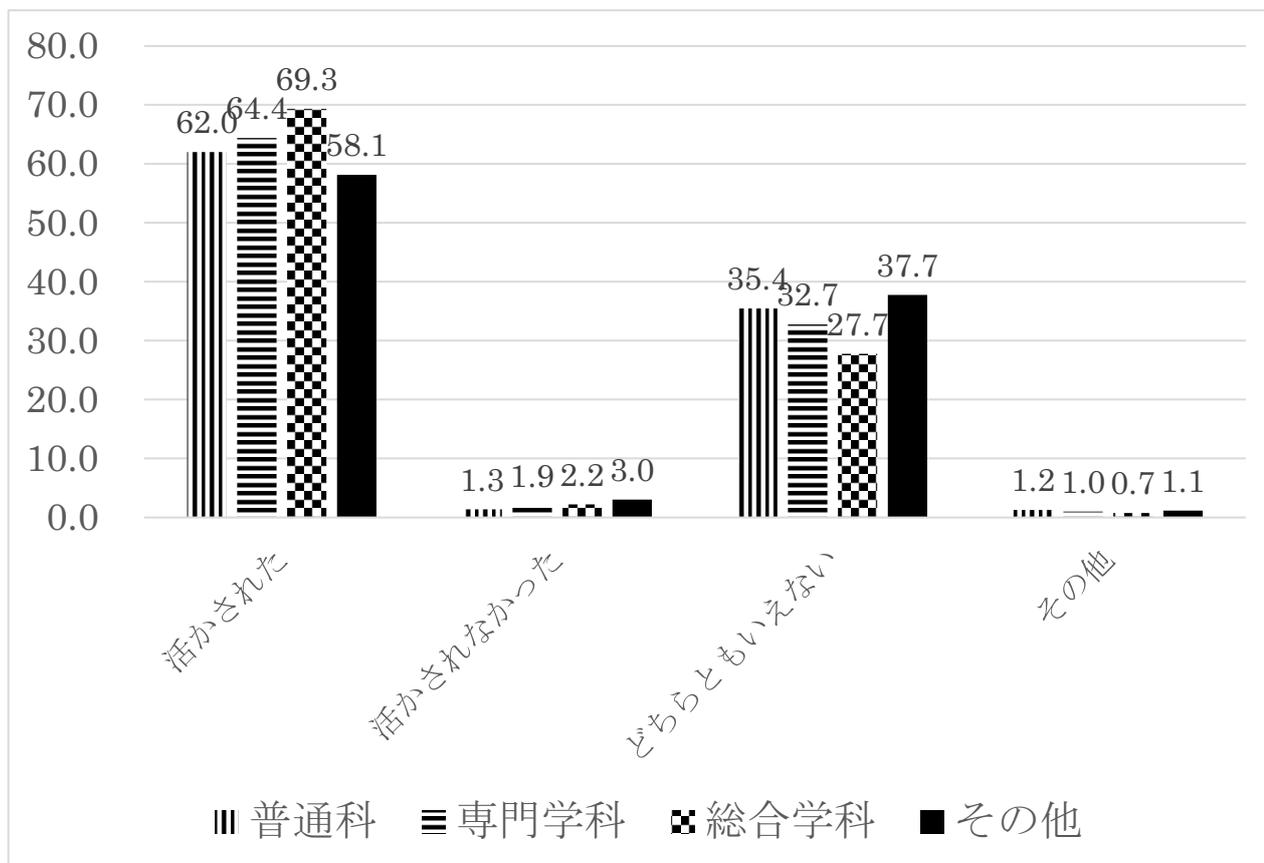
(エ) 探究を学校で実施する課題（校）



(オ) キャリアパスポート活用状況（%）



(カ) 探究的学びが活かされたか (%)



●令和6年度の調査研究の柱立て

就職問題並びにキャリア教育を巡る課題と方策

～キャリア教育における探究活動の効果的な活用を求めて～

- ① 就職状況の実態把握
- ② 主体的な職業観育成に向けた取組状況
- ③ 探究的な活動を取り入れたキャリア教育の実施状況
- ④ 外部機関等との連携による課題と方策

●終わりに

・高等学校学習指導要領総則より

【キャリア教育の充実（抜粋）】

生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。その中で、生徒が自己の在り方生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、組織的かつ計画的な進路指導を行うこと。

## 【解説】

キャリア教育を効果的に展開していくためには、特別活動のホームルーム活動を要としながら、総合的な探究の時間や学校行事、公民科に新設された科目「公共」をはじめとする各教科・科目における学習、個別指導としての教育相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていく取組が重要になる。また、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めることがキャリア教育の視点からも求められる。

### ・これまでの研究報告より

令和4年から新学習指導要領に応じたキャリア教育を進めていく中で、特に普通科高等学校は学校の特色・魅力を組織的に確認・把握し、地域社会に伝えていかなければならない。小学校から高等学校を経て大学、又は企業まで生徒自らの実績と将来の指針をつなげることが変化の激しい社会において自己理解を深める手立てとして考える必要がある。

学校は視野を広げ、地域の大学や企業等と連携を取りながら発展させることが有効である

普通科高等学校のほとんどの学校が「総合的な探究の時間」を活用し、「ホームルーム」と連動して実施している学校が多い。

専門学科高等学校の場合は、「総合的な探究の時間」ではなく、「課題研究」の時間に教科の専門性を生かしたキャリア教育の実践が行われていることが伺えた。

専門学科・総合学科高等学校にとって探究に係る教科と学校行事が、生徒の教育活動については重要な要素であることがアンケートから理解できた。

記述欄にて実施の内容を検討すると、講演が多く、「ホームルーム」の時間を含めて計画的に実施している。

今年度のアンケート結果を参考にいただき、全国の高校の就職・キャリア教育に関する実態を把握してもらえたら幸いである。また、新学習指導要領が3学年そろった状況に入り、探究をより効果的に実践できる授業の工夫が今後の生徒の進路選択に有効になっていくのではないだろうか。



公式キャラクター・パティ君

# キャリア教育研究委員会担当校の今

東京都立日野台高等学校長 森田 正男

## I 学校概要



本校は創立から45年、高いレベルでの文武両道を目指し、日々の授業や進路指導に取り組み、学校行事・部活動も盛んな全日制・普通科高校です。教育目標は、「叡智・情操・健康」を三本柱に置いています。教育課程は、基本的には2年生まで、全員が国公立大学受験に対応するため、受験するために必要な共通科目を学ぶ内容になっています。1学年8クラス、計24クラス、平成30年度全面改修工事が終了し、一足制になりました。

## II 令和6年度東京都教育委員会指定内容

- 進学指導推進校（令和5～9年度）
- 英語教育研究推進校（令和4～6年度）
- 理数研究校（令和6年度）
- 体育健康教育推進校（令和5～6年度）

## III 国際教育の充実

- ・海外からの帰国生受入校（都立4校）
- ・海外語学研修（夏季休業中希望者）の実施

## IV 文部科学省 DX 加速化推進事業採択校

(DX ハイスクール・配布予算：1,000万円)

## V 進路指導（キャリア教育）

### 《進路状況》

令和6年3月の卒業生313人の進路先は、大学現役進学が88%、浪人が11%で、都立の進学校の中では高い現役進学率を保っています。ただ、若干、例年に比べて浪人が増加しています。(詳細→大学進学274人(昨年度288人)・専門学校3人・就職1人・その他35人(昨年度20人))

進路ガイダンス等では、国公立大学受験を勧められています。その結果、国公立大学の合格者数

は、84人（昨年度88人）となりました。2年連続80人越えは、進学指導推進校の中では、突出しています。

### 【主な国公立大学別現役延べ合格者数】

都立16人/学芸8人/都留文8人/農工6人/山梨4人/東京外語3人/電通2人/一橋1人/北海道1人/筑波1人/大阪1人/東京医歯1人 他 計84人

※この数字には反映されていませんが、1浪した生徒1人が、東大に合格しています。

私立大学についても高い合格者数を出しています。早・慶・上智・理科大現役延べ合格者数は、58人（昨年度63人）です。

### 【大学別現役延べ合格者数】

早稲田16人/慶應1人/上智17人/東京理科24人

学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政のGMARCHの現役延べ合格者数は317人で過去最多となりました。

### 【大学別現役延べ合格者数】

学習院8人/明治46人/青山学院33人/立教37人/中央94人/法政99人

多くの生徒が、授業、部活、行事を通して、力を高め、諦めずに最後まで頑張った成果です。

### 《進学実績を支える3つの要素》

- (1) 手厚い学習指導
  - ・夏期講習や週末課題の指導
  - ・校内予備校（令和5年度から）
- (2) 充実した進路指導
  - ・定期的な面談/模擬試験の実施
  - ・継続的な進路情報の提供（豊富な進路情報）
  - ・データに基づく出願指導
- (3) 自主学習を支える環境
  - ・7時～19時で自習できる環境
  - ・自習室/自習スペース等の設置
  - ・Classi を活用した自主学習支援

## VI 総合的な探究の時間（毎週水曜日5時間目）

今年度は、「一般社団法人ユースキャリア教育機構」と連携し、取り組んでいます。

# キャリア教育研究委員会担当校の今

東京都立上野高等学校長 吉田 寿美

## I 学校概要



本校は、大正13年に第二東京市立中学校として開校し、今年度100周年を迎える全日制・普通科(各学年8クラス)の高等学校です。以前は、定時制課程・通信制課程も併設していました。

教育目標は、「自主協調」「叡智健康」です。確固たる個の確立と仲間との協働、高い知性・豊かな情操と体力の向上という意味です。令和4年3月に発表された東京都教育委員会による本校のスクール・ミッションは、「グローバル化する社会で活躍する人材の育成」です。

上野公園は、国内外から、多くの方々が訪れる魅力溢れる場所です。上野公園内にある東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、恩賜上野動物園、東京文化会館等は、「文化の杜・上野」と名付けられ、世界の文化交流の拠点を目指しています。上野公園の一角に位置する本校では、「文化の杜・上野」等を活用した様々な教育活動を企画し、本物に触れることを大切にしています。

東京都教育委員会指定「進学アドバンス校」(平成26～令和4年度)の取組が認められ、昨年度から「進学指導推進校」(令和5～9年度)になりました。さらに「英語教育研究推進校」(令和4～6年度)、「海外学校間交流推進校」(令和6年度)、「探究的な学び推進事業」(令和4～6年度)等の東京都教育委員会の指定、支援を受けています。

## II 進路指導(キャリア教育)

令和5年度卒業生(令和6年3月卒業)の結果

です。

【現役進路決定率】94%

【現役延べ大学合格者数】

国公立(大学校含む) 42名

早慶上理・ICU 延べ43名

GMARCH 延べ228名

生徒の高い進学希望を実現するため、着実な学力の伸長を図り、進学実績の向上に取り組んでいます。①国公立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程の編成、②1・2学年から大学受験を意識させるための個別面談やガイダンスの定期的な実施、③土曜日や長期休業日等の補習・講習、④校内予備校(予備校講師による講習)、⑤自習室の完備など、3学年を見通したきめ細かい指導を行い、学校に軸足を置いた進路実現を目指しています。

### ◆ 自習室の完備 ◆



朝7時30分から午後7時まで利用できます。卒業生(大学生)チューターが在室し、相談や質問ができます。180席・キャレルデスク42席。

## III 総合的な探究の時間(上野学)

上野周辺の大学・文化施設を巡り、自身の課題を設定し、探究します。総合型選抜入試につなげ進学する生徒も増えています。

【1学年】基本的な探究スキル習得、ミニ探究、研究計画書作成

【2学年】仮設検証型・最大4500字の探究(課題研究)論文作成

【3学年】進路探究

【探究論文のタイトル例】

「芥川龍之介は、再話を通じて何を伝えようとしたのか」「AIの芸術家は創れるのか 機械学習と人間のアートの差」「一般家庭で用意できるもので魚の透明骨格標本を作る～魚の硬骨染色～」

# キャリア教育研究委員会担当校の今

東京都立本所高等学校長 小山 克之

## I 学校概要



本校は、昭和6年に東京市本所区第一実業女学校として設立され、今年度で93年目を迎える伝統ある普通高校です。教育目標は、豊かな人間性の育成、次代を担う力の育成、社会貢献する精神の育成です。落ち着きある校風を保持し、キャリア教育の充実にも努めています。

本校では「総合的な探究の時間」において、生徒が探究的な見方・考え方を働かせ、教科・科目等の枠を超えた横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習を行う教育活動「本所の探究」を実施しています。

1学年6クラス、2学年7クラス、3学年6クラス計19クラスです。

## II 令和6年度東京都教育委員会指定内容

理数研究校（令和5～6年度）

体育健康教育推進校（令和5～6年度）

都立高校等における産婦人科医を活用したコースヘルスケア事業 実施校（令和5～6年度）

## III 国際教育の充実

平成31年度より実用英語技能検定の全員受験などを実施し、英語を勉強したい・英語を使えるようになりたいと思えるように様々な取り組みを行う。

## IV 総合的な探究の時間「本所の探究」（毎週1時間）

「本所の探究」自分の興味・関心のあることを探究していくプロセスを通して、社会をより豊かに生きていく力を身に付ける。

・1学年

問別の講演を受講することなどを通して自分の興味・関心を広げる機会を設け実施する。

様々な視点からの問いの立て方などを学んだ上で自身のテーマを設定し、日常のあらゆる物事について「当たり前を問い直す」力を育成する。

・2学年

大学出前授業や分野別講座など外部から専門家を招き実際に学問の奥深さに触れる機会を設け、同時に研究を進める。

また、実際に社会で活躍する方々から講義を受けることで、学問と社会の結びつきを学び、社会と自己のかかわりを育成する。

・3学年

自身のテーマについて調査・研究していくことを通じて新たな問いや視点が生まれ、物事を多面的かつ論理的に捉える力を育成する。

また、仮説を検証したり、現地調査（インタビュー）をしたりすることで現代社会に求められる問題解決力を育成する。

## V 進路指導（キャリア教育）

### 《進路状況》

令和6年3月の卒業生233人の進路先は、4年制の大学現役進学が80.3%、短期大学が3.9%、専門学校が7.3%、就職が0.8%、浪人が6.9%で、高いレベルでの進路実現を達成しています。

### 【国公立大学別現役延べ合格者数】

琉球1人

### 【大学別現役延べ合格者数】

学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政のGMARCHの現役延べ合格者数は27人、日本、東洋、駒澤、専修の日東駒専の現役延べ合格者数は84人です。

### 《基礎の徹底と学力の強化に向けた取組》

- ・高大接続型探究の授業・自習環境の整備
- ・大学生チューターの配置・校内大学説明会
- ・大学出前授業・専門学校ガイダンス
- ・長期休業中の講習・長期休業中集中勉強会
- ・看護・介護体験（希望者）